

◆多機能ホームまどか◆

まどかでは接触を減らすために通いサービスの提供時間の短縮と時間差利用に踏み切り、訪問を増やすことに。通いで同時に過ごす人はスタッフも含め10人未満と、通常の半数まで絞りました。

個々に支援内容の優先順位を考え、全体のバランスを考えながら本人や家族と相談して決めました。「コロナが落ち着くまで、お休みします」と家族から連絡があったA子さんも、「煮詰まっちゃって」と短時間の通いを選択しました。迎え時間が変わったばかりの時期、B子さんは、「何時に迎えに来るの?」「コロナ対策で時間が変わったので」「ああ、わかった、待ってるね」と電話で会話、その数分後に「今日まどか?」。4週間経った今、電話はなくなり待っていてくれるようになりました。お迎えを1時間半遅くしたCさんは、「遅いんだもん」とまどかとは違う方向に歩いているところに遭遇したため、いつもどおりの時間にまた変更で納まりました。

プラスのこともありました。普段落ち着ける場所を探し部屋の中を動き回っているDさん、人口密度が減ったことで、笑顔が増えのびのびと歩いています。

◆えんの食卓◆

新型コロナウイルスの影響で、休みになったデイサービス利用者などから申し込みが急増、配達のコースも一つ増やしてがんばっています。

調理中はもちろん、前後も以前よりずっと念入りの消毒、手洗いをしています。配達業務では、配達一軒ごとに手指をアルコール消毒。基本はお顔を見ての手渡しですが、今だけは押印省略し置いてくるだけに。

必需品のマスクやアルコールが十分手に入らないのが悩みです。

今年のゴールデンウィーク、休まずに頑張ります!

◆グループリビングえんの森◆

えんの森は、数少ないいきまりごとである「みんなで一緒に夕食」を感染予防のために中止。使い捨ての弁当箱に入れて配り、各自のお部屋で召し上がっていただくことになりました。夕食時は貴重な交流の時間で、居住者さん同士の安否確認にもなっていましたから残念です。収束する日まで皆さんお変わりありませんように。



タチツボスミレ